第３回大分市まちづくり自治基本条例検討委員会（９月３０日）　議事３　委員意見要旨一覧

番号	該当箇所	委員意見等
1	はじめに	３段落目は「大分市まちづくり自治基本条例検討委員会が…設置されました。」とする一方で、４段落目は「本委員会では、…とりまとめました。」としている。これは、設置は市がするが、提言は委員会で取りまとめるからあえてこの表現になっているのか。
2		本委員会の進め方としては、市の取組等を聴く中で、委員の日頃の活動等とどう関わっているかといった進め方だったと思う。４段落目、「委員の日頃の活動等を踏まえ」を大前提とするのはどうなのか。
3		「はじめに」には、視点・進め方・検討の結果のエッセンスを入れていく必要がある。こういう視点で、こういう結果を出そうとしたといった流れが必要。
4		前回の検討から５年が経過し、本委員会を設置した点は記載があるが、この条例を平成２４年に制定してから時間が経っている。条例はよくできているが、市民の価値観やライフスタイルの変化、地域コミュニティの在り方・関わり方の多様化など、社会情勢の変化の中で、条例の趣旨である市民主体のまちづくりをどう進めていくかというところを議論しましたという、積極的・前向きな部分を入れてほしい。
5		総合計画では目指すまちの姿を「誰もが“幸せ”を実感できるまちOITA」としており、この条例が掲げるまちづくりの基本理念等と方向性を同じくするものですといったことを一言入れてはどうか。
6	条例の規定に係る検討について	５年前の提言では「条文を見直す必要はない」と明示したが、この案は「現行条文は時代に適合したルールとして機能している」という表現になっている。市長が設置し、市長に提言する委員会として、「見直し不要で、細かいところは逐条解説等で対応が必要である」といった形で明示しなくていいのか。
7		「現在の社会情勢」とあるが、人口減少や少子高齢化をはじめとした制定当時からの変化に触れ、それでも適合しているといった流れの方が分かりやすい。
8		条例自体の心構えは良いことを書いている。この条例に基づく取組を、社会情勢の変化にあわせて実施してほしいという点を表現してくれればよい。
9	財政運営について	「現時点においても」と書くよりも、財政に関する事項の具体的な公表例に触れ、それがあるから市民は財政状況の把握ができるといった流れにしてはどうか。
10		「情報を積極的に取りにいかない市民」という使い方を使って長く書くことはせず、「誰もが財政状況を知ることができる」等市民全体を指す表現にしてはどうか。
11	危機管理体制の整備等について	「市民の身体、生命、財産の安全性の確保」とあるが、精神的な安全性といった内容を盛り込んではどうか。
12		他の項目に比べて言葉が固いので、もう少し優しい言葉で書いてはどうか。

13	市民参画について	「授業や講義などの日常生活の中で」が具体的かつ学生向きの内容になっている。難しいかもしれないが、フルタイムで働いている社会人等についても言及するか、例示を抽象化するなどしてほしい。社会人として参加するには、副業の禁止や会社からどう思われるかなど様々なハードルがある。市民にとって参加するのが当たり前といった風潮があれば、皆が積極的に参加する気持ちになるのでは。
14		１段落目の「容易く実現できることではないかもしれませんが、それでも決してあきらめてはいけません」という一文は、削るか、「粘り強く取り組んでいくことが必要です」や、「市民も一緒に取り組んでいくことが必要」という主体感をもった書き方はどうか。
15		「地域（まち）」という表現には、何か意味があるのか。
16		機会・仕組み・環境づくり等重複している。重複部分は削って「情報を取りに行かなくても偶然目に触れる機会を増やす」だけでもよいのでは。
17		この条例は平成２４年に制定されたが、市民主体のまちづくりは本当に少しずつしか進んでいない。もっと踏み込んだ提言をするタイミングであるようにも思うが、若者等の参画については言及されている点はよい。
18	協働について	「助勢」は耳なじみがなく、分かりづらいので、削ってはどうか。
19	地域共生社会について	市長への提言なので、地域共生社会の用語解説は削ってもよいのではないか。
20		「市民の多様性にスポットライトが当てられる時代」について「スポットライト」ではないと思うので、変更してはどうか。
21	その他（市長等について）	「市長等について」の項目名は、他の項目名とのバランスを考え、「文言の整理」や「その他」にしてはどうか。
22		「文言の統一や定義の明確化など、適切な整理に向けて検討する必要があります」という表現が、条文の改正の提言に捉えられかねないので、「逐条解説で分かりやすく示す必要があります」とはっきり書いた方が良いのでは。
23	その他（条例の周知について）	「市民生活において直接的に触れる機会の少ない条例そのものを単に周知するよりも」の部分は削除でいいのではないか。「条例の趣旨に沿って定められた総合計画や、個別の計画を着実に進めていただき、そして市民のまちづくりに参加する機会を捉え、効果的な条例の周知が望まれます。」などという表現はどうか。
24		条例の周知はもとより（同時に）、実際の活動の中で条例の理念を落とし込み、浸透させることが大事だといったところを実際に話し合ったので、そのような趣旨で表現したい。
25	全体	可能な限りAIを利用しながら、重複部分、異なった言葉が使われている部分等を整理してはどうか。
26		一般市民から見たときは、もうちょっと優しい言葉遣いの方がよいと思う。